

学力向上に係る効果的事例

【杉戸町教育委員会】

- 1 学校、学年 中学校、全学年
- 2 ねらい

埼玉県小・中学校学習状況調査や杉戸町学力調査の結果をもとに、職員の共通理解を図り、学校全体として生徒の学力向上に取り組む。

3 学力向上に向けた取組

(1) 教師の指導力向上に向けて

(授業改善・校内研修の充実等)

学校研修課題である「生徒がいきいきと学び合う授業の創造」の取組の充実を図ることで学力向上に取り組んでいる。授業研究会の実施や研修により指導法の工夫・改善を図ることで、授業の内容や質を充実させていく。



(2) 児童生徒の学力向上に向けて

(学習規律・学習習慣の定着・言語活動の充実・家庭学習の推進)

① 学習環境の整備

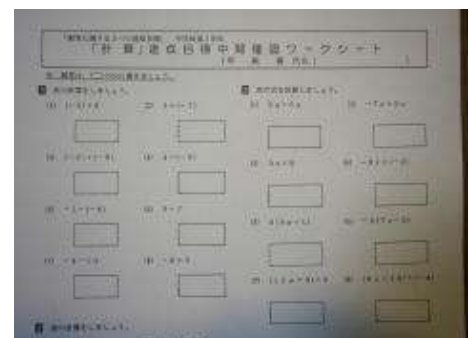
授業規律の確立を図ることで落ち着いた学習環境を作る。そのために授業の約束 10ヶ条やテストの約束を徹底する。また、授業の進め方や成績の付け方や年間の予定などが記載された学習の手引き(シラバス)を活用し、目標や見通しを持って学習に取り組ませる。更に、学び合う授業を展開するために生徒同士のよりよい人間関係を作る方策を講じる。全教育活動での心の教育の実践、さらに、ソーシャルスキルトレーニング等の実践も積極的に取り入れていく。

① 「検証テスト」の実施

「教育に関する3つの達成目標」を推進していくことで学力向上に取り組んでいく。

国語・数学・英語の3教科において、年2回校内検証テストを実施している。問題は漢字・計算・単語といった基礎学力をみるものである。実施日を年間計画に位置づけ全校で同時に実施する。

80%達成者を合格として、2回までの再テストを行っている。この結果は通知票にも記載され保護者にも報告される。内容が基本的なものであるため、結果は学習への意欲によるところが大きい。目標を持たせ、いかに学習意欲を高めるかが課題である。その為の方策を今後も引き続き工夫し取り組んでいく。



③学力向上教室の実施

夏期休業中には、学力向上教室を3日～4日間実施している。5教科の担当から提示された内容を見て、生徒が希望する講座を受講する。検証テストの結果によっては、この講座に参加を義務づけられる。普段の授業よりも少人数での指導になるため、個々の生徒への支援ができる場となる。

学力向上教室学習内容（一部）

教科・コース	学習内容	教科・コース	学習内容
1年国語A	長文	1年数学E	「正負の数」計算問題
1年英語J	発音の仕方、フォニックス	1年数学F	「文字と式」計算問題
2年社会C	1年の地理の復習	2年理科G	動物（基本コース）
2年社会D	1年の歴史の復習	2年理科F	動物（発展コース）
3年国語A	入試の課題作文	3年数学E	2年の復習
3年英語I	1学期の復習（受動態・現在完了）	3年理科H	2年の復習（1・2分野）

（3）家庭・地域との連携による取組

（小中連携、中高連携、地域の教育力の活用）

① 小中連携

今年度は小中連携の取組として昨年度に引き続き学区内小学校と合同の研修会を行なった。

「学習・清掃・生徒指導」等、より具体的な内容についての意見交換がされた。また、相互の授業参観も行われた。

② 中高連携

県立杉戸農業高校でキャリア教育講座が開かれた。参加した2年生は進路に対する意識が高まった。

③ 中学生社会体験チャレンジ事業

毎年行われている中学生社会体験では、生徒たちの活動が評価される場面も多く、有意義な取組となっている。



4 成果と課題

教師の指導法の工夫・改善に関しては、「生徒が学び合う授業」「学習意欲を高める授業内容」を共通課題として、互いに授業参観を行い、ワークショップ型研修を取り入れた研修が定着しつつある。積極的な研修、授業公開で更に指導法の工夫・改善に取り組んでいきたい。また、校内検証テストでは、目標達成の合格者が回を重ねるたびに増加しており、「やればできる」という自覚を持つ生徒が増え、家庭学習の定着の一助になっている。今後も意欲的に取り組めない生徒への継続的な指導・援助を担当・学年担当・教科担当の協働で行っていく。